

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-227	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	現国 050-902	新編 現代の国語 改訂版		

## 1. 編修の基本方針

- ・主体的・対話的で深い学びをとおして、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力・他者に共感する力・想像する力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めることができるよう配慮する。
- ・言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけるとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養い、他者や社会に対する関心を育むことができるよう配慮する。
- ・教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、現代社会における多様な話題・題材を提示して生徒の興味・関心を喚起し、言語活動をとおして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>1 ことばをひらく</b> この春、なにを始めよう／コミュニケーションは技術だ／ことばの準備体操	<ul style="list-style-type: none"> <li>・失敗を恐れずに学びに取り組むことやコミュニケーションに興味をもつことをねらいとし、失敗を恐れず挑戦することの大切さを説く「この春、なにを始めよう」、コミュニケーション技術向上への意欲を喚起する「コミュニケーションは技術だ」を収録した。(第1・2号)</li> <li>・発音のしかた、上手な聞き方、読みやすい文字の書き方、内容が伝わる音読のしかたを取り上げ、多様な言語活動の基礎となる教材を位置づけた。(第1号)</li> </ul>	pp. 11-20
<b>2 日本語を使いこなす</b> 声を意識しよう／正しく書こう／正しく読もう／ことばを選んで読もう／文を整え、文をつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や目的に応じて適切な言葉遣いを選択し、整った文を書いたり、伝わるように話したりする力を養う教材を位置づけた。(第1号)</li> <li>・短い文章をとおして、文意を的確に読み取る力を養う教材を位置づけた。(第1号)</li> <li>・学習活動の参考となる文章・統計資料を「表現への扉」に掲載し、日本語に対する知識を身につけたり、認識を深めたりすることができるよう配慮した。(第1・5号)</li> </ul>	pp. 21-44
<b>3 わかりやすく説明する</b> 【ウォームアップ】説明のしかた 人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか／ナンバーワンか、オンリーワンか／生きることと食べることの意味／実用文を読もう ①—薬の説明書／絵や写真を説明しよう／手順を説明しよう／伝わるように話そう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を説明する文章を的確に読み取る力を身につけ、自然科学的な内容に対する興味・関心を養うため、【ウォームアップ】説明のしかた 人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか「ナンバーワンか、オンリーワンか」「生きることと食べることの意味」を収録した。(第1・4号)</li> <li>・実用的な文章の例を提示した教材を設置し、実社会で生かすことができる国語の力を身につけることができるよう配慮した。(第2・3号)</li> <li>・物事をわかりやすく説明する文章を書く力や、自分が伝えたいことをわかりやすく話す力を育む教材を位置づけた。(第1号)</li> </ul>	pp.45-68
<b>4 聞く力・話す力を育む</b> 聞き取りのレッスン／聞き上手になろう／聞いたことを工夫して伝えよう／ショートスピーチをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大切なことを落とさずに聞き取る力や効果的な質問のしかたを身につけるとともに、他者と伝え合うことの大切さや喜びを学ぶことができるよう、「聞く」力を重点的に扱う教材を位置づけた。(第1・2・3号)</li> <li>・魅力的に情報を伝える力を養うために、スピーチをする教材を位置づけた。(第2号)</li> <li>・学習活動の動機づけや参考となる文章を「導入」「表現への扉」に掲載し、他者を尊重する態度を育むことができるよう配慮した。(第2号)</li> </ul>	pp.69-84
<b>5 論理を読み取る</b> 【ウォームアップ】論理の展開／商品と贈り物の違い／水の東西／人間とAI—想像力の源泉／【探究の窓】論理の力を鍛えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的に物事を考える力を育み、主張と根拠の関係、具体と抽象の関係、対比の関係などに対する理解を深める教材を位置づけた。(第1号)</li> <li>・論理的な文章を的確に読み取る力を身につける教材として、「商品と贈り物の違い」「水の東西」「人間とAI—想像力の源泉」を収録した。(第1・5号)</li> </ul>	pp. 85-102

<p><b>読書の広場</b> 本のPOPを作ろう／おすすめの本を紹介しよう／極北へ／ももこのいきもの図鑑／デューク／鉄を削る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者を引きつけるような効果的な表現のしかたを身につける教材として、「本のPOPを作ろう」「おすすめの本を紹介しよう」を位置づけた。(第1・2号)</li> <li>・多様なジャンルの本に興味をもち、生涯にわたって読書に親しむ態度を育むため、さまざまな分野の文章を掲載した。(第2・4・5号)</li> </ul>	pp. 103-124
<p><b>6 伝え合いのレッスン</b> 対話のレッスン／話し合って結論を出そう／議事録をまとめよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や場面に配慮し、他者も自分も尊重して対話をする力、他者と話し合いながらアイデアを広げたり整理したりして結論を出す力を育む教材を位置づけ、他者と協働しながら社会の一員として貢献する力を育むことができるよう配慮した。(第2・3号)</li> <li>・議事録の目的や形式を知り、わかりやすい議事録の書き方を扱う教材を位置づけた。(第2・3号)</li> <li>・学習活動の動機づけや参考となる文章を「導入」「表現への扉」に掲載し、コミュニケーションに積極的に取り組む態度を育むことができるよう配慮した。(第2・3号)</li> </ul>	pp. 125-138
<p><b>7 説得力を高める</b> 意見文の基礎を学ぼう／反対意見を想定した意見文を書こう／ミニ討論会をしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を論理的に述べて他者を説得する力を養うことができるよう、論理的に意見を書いたり討論をしたりする教材を位置づけた。(第1・3号)</li> <li>・社会的な問題に対する自分の意見をもち、意見を書いたり討論したりする際の動機づけや参考となる文章・統計資料を「導入」「表現への扉」に掲載した。(第2・3・4号)</li> </ul>	pp. 139-156
<p><b>8 情報と向き合う</b> 【ウォームアップ】情報の吟味／情報の力関係／どこもかしこもプラスチック！／【探究の窓】さまざまな情報を活用しよう／統計資料を読み解こう／実用文を読もう ②——契約の文章／レポートを書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の適切さを吟味する力を養う教材を位置づけた。(第1・3号)</li> <li>・図版や統計資料と文章など、複数の情報を関連づけながら読み取る力を育んだり、グラフの種類と特徴への理解を深めたりするため、「情報の力関係」「どこもかしこもプラスチック！」「統計資料を読み解こう」を収録した。(第1・4・5号)</li> <li>・実用的な文章の例を提示した教材を設置し、実社会で生かすことができる国語の力を身につけることができるよう配慮した。(第2・3号)</li> <li>・さまざまな方法を用いて情報を収集・整理し、考察したことをわかりやすく文章にまとめる力を育む教材を位置づけた。(第1・2号)</li> <li>・学習活動の参考となる文章・統計資料を「表現への扉」に掲載し、多様なメディアとの付き合い方や、情報との向き合い方に対する考えを深めることができるよう配慮した。(第1号)</li> </ul>	pp. 157-184
<p><b>9 他者を動かす</b> 魅力的な企画書を書こう／プレゼンテーションをしよう／案内文を書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの思いやアイデア、調べた内容などを効果的に他者に伝え、他者を説得する力を育む教材を位置づけた。(第1・2・3号)</li> <li>・現代社会における多様な通信手段の特徴を知り、その使い分けを考える教材を位置づけ、手紙や電子メールの基本的な形式、時候の挨拶、頭語と結語などをわかりやすく提示した。(第1・5号)</li> <li>・学習活動の動機づけや参考となる文章・統計資料を「導入」「表現への扉」に掲載し、「伝える」ことへの意欲を高めるよう配慮した。(第1・3号)</li> </ul>	pp. 185-204
<p><b>10 社会に目を向けて</b> 【ウォームアップ】批判的に読む／何のために「働く」のか／自分の考えをつくるために／【探究の窓】社会との関わりを見つめよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張を読み取ったうえで、それに対する自分の意見をもち、考えを広げたり深めたりするための教材を位置づけた。(第1・2・3号)</li> <li>・自主・自律の精神を養い、他者と協調し合いながら社会の形成に参画する態度を育むことをねらいとし、「何のために『働く』のか」「自分の考えをつくるために」を収録した。(第2・3号)</li> <li>・学習活動の参考となる統計資料を「表現への扉」に位置づけ、社会に参画することや学校で学ぶことの意義を考える契機とすることができるよう配慮した。(第2・3号)</li> </ul>	pp. 205-221

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・全編を通じて色彩豊かな写真、図版、イラストなどを多用し、学習への興味をかき立て、積極的に学習活動に取り組む姿勢を引き出すよう配慮した。
- ・学習内容に対する関心や意欲を高めたり言語活動の参考になったりする文章を「導入」「表現への扉」に豊富に提示し、学習の動機づけや参考資料、発展学習の素材などとして活用できるよう配慮した。
- ・「表現への扉」に統計資料を掲載したコーナー「グラフを読む」を設け、統計資料を的確に読み取る力や、統計資料を活用して表現する力を育むことができるよう配慮した。
- ・「ことばの資料」として、「敬語のまとめ」を位置づけ、日本語に対する正しい知識・技能を身につけるとともに、さまざまな学習場面において参照したり、自学自習で活用したりできるように配慮した。
- ・「巻末資料」として、「原稿用紙の使い方」「発想法・思考法」「論理を使いこなす」「話し合いのいろいろ」を位置づけ、さまざまな学習場面において参照したり、自学自習で活用したりできるように配慮した。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-227	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	現国 050-902	新編 現代の国語 改訂版		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ●基本方針

- 主体的・対話的で深い学びをとおして、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力・他者に共感する力・想像する力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めることができるよう配慮する。
- 言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけるとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養い、他者や社会に対する関心を育むことができるよう配慮する。
- 現代社会における多様な話題・題材を提示して生徒の興味・関心を喚起し、言語活動をとおして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

### ●構成

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域の力を育む教材を、学習のねらいに応じて10の単元に分け、基礎から発展への学習段階に配慮しながら位置づけた。また、生涯にわたって読書に親しむ態度を養うことをねらいとして、「読書の広場」を位置づけた。

### ●教材選択にあたっての配慮

- 各教材でねらいとする資質・能力をふまえて、AI（人工知能）、コミュニケーション、自然科学的な話題、情報社会とメディア、環境問題、労働と生きがいなど、現代社会を生きるうえで重要となるさまざまなテーマに配慮し、生徒の興味・関心を喚起するよう配慮した。

### ●教材化の工夫

#### 1 ねらいとする資質・能力の明確化

- 単元のとびらにはその単元のねらいを表すリードと学習内容を示し、各教材の冒頭に「目標」「学習活動」を掲げて、身につけるべき資質・能力を意識し、学習の見通しをもちながら学習に取り組むことができるよう配慮した。また、教材末には「チェック」欄を設けて、教材の「目標」を達成できたかどうかを確認できるようにした。
- 学習活動に取り組むうえで重要な点を「ポイント」にまとめ、具体例や図解等を交えて平易な解説を行った。
- 応用・発展的な学習課題「トライ」を適宜位置づけ、生徒のさらなる学習意欲・探究心を引き出すよう配慮した。
- 「読むこと」の教材では、本文下欄に「脚問」、本文の後に「学習のポイント」を置いて、文章を的確に読み取る力が身につくよう配慮した。また、本文下欄に、語句・漢字の学習に役立つ「語句」「漢字」欄を位置づけて読み替えや同音異義語、対義語なども提示し、本文の後の「語句と漢字」欄とあわせて、語彙・漢字の学習に資するよう配慮した。
- 目次の後に、「この教科書で身につく力」を掲載し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の観点ごとにねらいとする資質・能力を明示し、確かな学力を身につけることができるよう配慮した。

#### 2 論理的な思考力を育む系統的な学習

- 主張と根拠、具体と抽象、対比など、論理的な思考力を育成するために必要な要素を系統的に配置し、論理的な文章を読んだり、論理的に文章を書いたり、論理的に意見を述べたりする活動をとおして、確かな力を身につけることができるよう配慮した。
- 「巻末資料」に「発想法・思考法」「論理を使いこなす」を位置づけ、さまざまな学習場面で参照できるようにした。

#### 3 興味・関心を引き出す多様な学習材

- 単元冒頭の「導入」に単元の学習内容に関連する文章を配置し、学習の動機づけとして活用できるよう配慮した。
- 単元末の「表現への扉」に、表現することへの関心や意欲を高めたり、表現の参考になったりする文章や統計資料を豊富に提示し、参考資料、発展学習の素材などとして活用できるよう配慮した。
- 実用的な文章として、薬の説明書、料理レシピ、本のPOP、約款、レポート、企画書、プレゼンテーション資料、依頼状など、多様な文章の実例を提示し、実社会で生きる国語の力を意識できるよう配慮した。
- 「読書の広場」において、バラエティ豊かな文章を掲載し、ブックガイドも位置づけて、本のジャンルの多様さ、さまざまな価値観や世界観を知り、ものの見方や考え方を広げることができるよう配慮した。

